

鹿嶋労働基準監督署長が安全パトロールを実施！ ～年末年始労働災害防止強化運動を契機に～

令和5年12月13日



パトロール時に工場長から説明を受ける大久保署長（右側）

鹿嶋労働基準監督署（署長 大久保一樹）は、令和5年度年末年始労働災害防止強化運動（令和5年12月1日から令和6年1月31日まで）に合わせて、管内所在の日本製鉄（株）東日本製鉄所鹿島地区（以下「日本製鉄」という。）構内の安全パトロールを実施しました。

日本製鉄は、鹿島臨海工業地帯に位置し、約1000万㎡（東京ドーム220個分）の敷地の中に高炉や大型の工場が立ち並び、自動車や家電向けの薄板鋼板を中心に、厚板鋼板、鋼管、形鋼等を製造しています。

パトロールでは、構内における転倒災害防止対策やフォークリフトと作業員との接触防止対策を重点的に確認するとともに、今後、年末年始に向けて、慌ただしい中での大掃除や機械設備の点検、再稼働等の非定常作業が増え、労働災害の発生リスクが高くなることから、より一層の安全対策の徹底を呼びかけました。

鹿嶋労働基準監督署では、労使双方が力を合わせて一年を無災害で締めくくり、誰もが安全で健康な新年を迎えられるよう、年末年始労働災害防止強化運動に基づく各種取組を推進していきます。

鹿嶋労働基準監督署 TEL0299-83-8461

「年末年始労働災害防止強化運動」の詳細は、[こちら](#)をクリック！